

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 テーマ

相互の理解と
地域との つながり

2011-2012 年度 RI会長
カルヤン・パネルジー

次回例会予定 10月6日 外部卓話 清水 清様
10月13日 外部卓話 全 志英さん

VOL. 49 No.11(通算No. 2292)

2011年9月28(水)例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸 報 告
幹事報告
会長挨拶
会員卓話

海老原良夫ロータリー情報委員長



写真提供:倉持孝幸様 常総市羽生町在住

2011-2012年度

会長 大塚 令 昌

幹事 斎藤 広 巳

創立 1963年9月25日

《例 会 場 ・ 例 会 日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事 務 所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

9月は新世代の為の月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.49 No.10(No.2291) 9月14日(水)晴れ (司会 染谷正美委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆ 会長・幹事会報告、研究会報告

ビ ジ タ ー

米山奨学生 全 志英さん

誕 生 祝

〈配偶者〉白井会員

幹 事 報 告 齋藤広巳幹事

週報受理クラブ 藤代RC、

例会変更通知 なし

理事会の報告

1. 谷和原グランドゴルフ大会助成金について
例年通り50,000円
2. ボーイスカウト、ガールスカウト育成金について
ボーイスカウト……10万円
ガールスカウト……5万円

……承認されました……

会 長 挨 拶 大塚令昌会長



米山奨学生の全 志英さん、ようこそいらっしゃいました。

国際ロータリー第2820地区2011-12年度の第一回会長・幹事会が、8月27日筑西のダイヤモンドホールにて行われました。登録は13時30分、開会となりました。司会に結城ロータリークラブ山崎勝太郎氏のもと、大木ガバナーの点鐘に始まり地区幹事小林勇氏の開会の辞、ソングリーダーにて国歌斉唱、ロータリーソング・奉仕の理想、結城ホストクラブ四宮氏の歓迎の言葉、大木ガバナーにて地区役員の紹介、続いて大木ガバナーの挨拶、野堀ガバナーエレクトの国際大会バンコクについてのお話となりました。次に、東京ロータリークラブ(RIの会議より)から2005-06年度のカバナー会議長市川伊三夫氏のお話で、国際ロータリー会員増強及び退会防止委員会報告として、45分間お話が有りました。カルヤン会長の話のなかで、会員増強なしでロータリーは無い、そして日本と米国で頑張ってもらいたいと云う意向がひしひしと感じました。また若い会員と女性会員が少なく年齢層が高くなっていること、そして会員増強のネックは会費が高い、また例会の時間の設定、例会の日数等が上げられ、外国では朝の例会又は夜の例会が多くなっているようです。との話がありました。2820地区での報告によりますと、7月1日現在では2022名、7月31日現在で27名増員2049名との報告がありました。15時40分から地区総括委員長報告が行われました。作山クラブ奉仕総括委員長からは、クラブの現状分析と未来を見渡す中長期計画を策定すること、会員研修強化の推進で魅力あるロータリアンの育成を計画的に行うことが必要と考えられるからです。との報告がありました。八文字職業奉仕総括委員長からは、各クラブ職業奉仕委員会を中心に職業奉仕について各クラブで自由に考えてもらい活動および実践がスムーズに行えるようにサポートする事が、年間を通しての主な活動になると考えています。職業奉仕については、いろいろな考え方や解釈等がありますが、是非委員長の皆様のリーダー

9月は新世代の為の月間です

THE WEEKLY REPORT

シップを發揮し、独自の活動・実践を行い、理解を深めて戴ければと思います。との報告が有りました。保延社会奉仕総括委員長からは、今年度は二つの大きなテーマを掲げました。第1のテーマは、福島第1原子力発電所の影響で社会奉仕活動は屋内での活動だったり、子供達との交流など放射能の影響に配慮した活動をしなくてはなりません。そのため放射能に対する知識を充実させるべく講師を呼んで勉強致しました。まず「福島第1原子力発電所の現状と放射能について」次に「あなたにとって社会奉仕とは」の二つです。そして社会奉仕活動は、ロータリー精神の実践の場であり自己を高め研鑽することを目的としております。奉仕事業は金額ではなく、いかに相手が幸せな心になれるよう行動することではないでしょうか。との報告です。次に金子新世代奉仕総括委員長の話がありました。新世代奉仕では2部門に分かれ、1部門の午前中は役員挨拶として井上新世代奉仕カウンセラーにより新世代4部門の内容、歴史、経過重要性を理解易く話され、新世代奉仕が第5の奉仕であることと、青少年プログラムの原点に戻り各小委員会が横断的に強調し、連携し活動することが肝要である。との話のあと午後に入り全体会の内で小委員会の内で、小委員会プログラムセッションを行いました。その中でインターアクトクラブ現況と活動報告、ローターアクトクラブ現況と活動報告、ライラの説明そして第31回ライラセミナー報告が染谷秀雄委員から行われました。そして理論ではなく行動をおこす

ことで終わりました。次に坂寄国際奉仕総括委員長より、国際奉仕には三つの小委員会からなっています、との話で 1、世界社会奉仕委員会(WCS委員会) 2、国際交流共同委員会 3、青少年交換委員会です。1、はWCS事業を共に参加することが出来るという方法をとって行っています。「この指とまれ国際奉仕」には8つのプロジェクトの提唱が有りますので、協力クラブとして手をあげていただきたい、また国際交流共同委員会では、2ヶ国以上の国のローターアクトとクラブ間の交流を推奨、異なる国の人々の親睦と文化間の理解を深めることを目的に設置されている委員会です。3の青少年交換委員会では、青少年の1年交換事業、友好地区の青少年の短期交換事業を行う委員会、高校時代の1年間を他国で過ごすことにより様々な体験を通して国際理解を深めることが目的で、決して語学研修ではありません。「人生で最も素晴らしい1年だった」と未来のロータリアンの育成に繋がりたい事業ですとなりました。佐藤ロータリー財団総括委員長の話では、ロータリー財団情報報告との題名で更なるロータリーの夢計画として報告がありました。ポリオ委員長より財団寄付について、およびクラブ寄付の状況報告と年次寄付及びポリオ寄付の達成結果などが話し合い、目標の達成クラブは約三分の一程度であった。年次寄付目標の110ドルとポリオ50ドルのバランスが悪く総額はクリアしているのに目標に達していないクラブもあり、送金の仕方について説明がなされたようです。昼食後は国際奉仕アドバイザーによって、10-11年度のマッチンググラントの申請状況などについて報告されたそうです。いずれも財団委員会のセミナーでの報告が話されました。次に米山記念奨学久野総括委員長から、7月17日にクラブ米山委員長及びカウンセラー合同セミナーを開催の報告が有りました。内容にはクラブ米山記念奨学委員長の手引きと、カウンセラーハンドブックを持参し、米山への理解と協力をお願いし米山奨学委員会は優秀で、コミュニケーション豊かな奨学生を採用するため計画実行をしております。そして東京ロータリークラブが最初に奨学生を受け入れてから57年、財団法人として認可されてから44年を迎えます。趣旨をご理解の上ロータリアン一人一人の変わらぬご支援をお願い申し上げます。と締めくくりました。その後、青少年交換について及びGSEについての報告及び地区の現況報告及び資金報告質疑応答があり、2012年度の地区大会の報告が有りました。

とき 2012年4月7日(土)、8日(日) ところ 結城市民文化センターアクロス
大会第1日 4月7日(土) 第2回会長・幹事会 本会議
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
大会第2日 4月8日(日) 本会議 記念講演 懇親会
記念ゴルフ大会 2012年度4月中旬 予定

次に大木ガバナーの総評があり、閉会の辞、点鐘、諸事お知らせ休憩にはいり、18時より懇親会になり

9月は新世代の為の月間です THE WEEKLY REPORT

ました。大木ガバナー挨拶、山崎直前ガバナーの乾杯、最後にホストクラブ石島幹事の閉会の辞、ロータリーソングにて解散となりました。19時20分です。

研究会報告

新世代奉仕委員会 横山 修新世代奉仕委員長



2011-2012年度、国際ロータリー第2820地区の新世代奉仕研究会が7月18日(月)日立市多賀市民プラザで行われました。当クラブからは、地区委員・新世代並びにライラ委員の染谷秀雄会員とローターアクト委員の石塚克己会員、そして私横山と副委員長の倉持功典会員の4名で参加致しました。各ロータリアンは青少年の模範、そして本年度の地区目標9項目を掲げられています。

1. 環境問題を考えて行動しよう
2. 今や変革の時代 これに対応して合理化に努めよう
3. 会長賞とチェンジメーカー賞を目指して行動しよう
4. 各自クラブのサポートと強化が最も重要
5. END POLIO NOW を掲げて、ポリオ感染を世界から消滅させる最後の努力をしよう
6. 大陸をつなぐ橋を渡って国際奉仕の輪を広げよう
7. あらゆるロータリー活動が地域社会に認知されるよう努力しよう
8. 寄付の数値目標
 - 1) ロータリー財団への寄付160ドル/人
(内訳 年次プログラム基金110ドル/人、ポリオ募金50ドル/人)
 - 2) ベネファクターを含め、恒久基金1,000ドル以上を各クラブ1名以上
 - 3) 米山記念奨学会へ2万5000円/人
9. 東日本大震災からの復興のために行動しよう

また、研究会の挨拶の中で、

大木ガバナーより20世紀は戦争の時代そして21世紀は環境の時代、その中で自己責任の時代、真実は1つ、自分で選ぶ時代と述べられました。また、内藤地区研修リーダーからは、人口問題について現在世界の人口は限界の約70億人ですが、年間8000万人の増加傾向にあり、10年間で80億人にたつすると予想されます。そこには種々の問題が発生することが、予想されると話されていました。その後NPO法人環境学習研究会副理事長長谷川春樹講師より、「3・11これからの若者へ」という演題で、地域の絆を復活(深める)しようと、大変勉強になり感動致しました。また、今回の震災で危機管理の重要性を再度見直す必要があり、通信方法を再度考えなおす事が責務であると、話されました。

いずれに致しましても、今までは青少年問題が取り上げられましたが、これからは社会奉仕が全ての時代だと痛感致しました。

ローターアクト報告

2011-2012年度第2820地区のローターアクトの日として、9月11日(日)に牛久市の淡水真珠店の明恒パールという場所で開催されました。当クラブより、地区委員の染谷秀雄会員、石塚克己会員、青木清人会員、松村仁寿会員、米山奨学生の全 志英さん、私の6名で参加致してまいりました。

今回は、土浦南が幹事クラブで、下館・笠間・古河・つくば学園・真壁の6クラブのローターアクター、及び各クラブの委員参加のもと盛大に開催されました。

ローターアクト浅香地区代表のゴングにより開催され、井上地区新世代奉仕委員長から全国34地区の内、ローターアクトクラブがあるのは、28地区あるそうです。そしてローターアクターの姿が大事、光り輝く

9月は新世代の為の月間です THE WEEKLY REPORT

ローターアクトにしよう、挨拶されました。そして各クラブの報告、その他活発な意見交換がなされました。その後、真珠細工を体験し無事終了いたしました。例会活動を通じて、社会奉仕や専門知識の開発など、一から企画・運営することにより、様々な人たちとの出会いや、コミュニケーションの輪を広げる事の出来る、素晴らしいクラブであると感じました。私自身ローターアクトに対するロータリークラブのあり方に少々疑問を感じました次第です。



ロータリー財団 島田 勝ロータリー財団委員長



7月31日(日)つくば学園のホテルグランド東雲に於いて、ロータリー財団地区セミナーが開催され出席をしてきました。

9時30分に登録があり、10時開会、セレモニーでは大木ガバナー、野堀ガバナーエレクトの挨拶、続いて、地区の役員、委員の紹介、そして100%ポールハリスフェロークラブの表彰があり、土浦中央RC外3クラブが表彰を受けました。

10時20分より佐藤財団委員長からオリエンテーションとロータリー財団情報ということで、スライドを使い2013-2014年度(野堀年度)から始まる「未来夢計画」についての説明がありました。その目的は、ロータリー財団の飛躍的な成長や、財団の2世紀目に備え、ロータリー財団のお金の流れと世界の地域に対し活動の理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めるためということでした。

その中で、補助金のシステムの変更があり、地区財団活動資金(DDF)を2つに分け、

①グローバル補助金と②新地区補助金に分けるとの事です。

続いて各委員会の報告があり、

9月は新世代の為の月間です THE WEEKLY REPORT

①植竹財団寄付・ポリオ委員長から財団の寄付について

・山崎年度と内藤年度の寄付状況を資料をもとに説明がありました。その中で、お金の入金方法の説明があり、年次寄付とポリオに分けてそれぞれ目標額が達成できるように入金して欲しいとの事でした。

・ベネファクターを出して欲しい。因みに、2009-2010年度と2010-2011年度の実績報告によると、年次寄付・ポリオ寄付ゼロクラブは8クラブと2クラブ

年次寄付ゼロクラブは1クラブと2クラブ

ポリオ寄付ゼロクラブは8クラブと1クラブ

ベネファクターゼロクラブは34クラブと30クラブでした。

②木内補助金委員長から地区補助金について

・今年度の地区補助金の総額は33,480ドルに

・補助金申請の条件と申請方法の説明があり、地区補助金を申請する条件として、ガバナーの方針、地区補助金委員会のガイドライン、ロータリー財団のガイドラインと地区補助金使用上の必須条件に適合することが条件との事でした。

尚、2011-2012年度の補助金申請計画状況は、23クラブで現在1クラブの申請があったそうです。また、2011-2012年度の第1回締め切りは8月31日(水)、第2回締め切りは11月30日(水)

③谷津GSE委員長からGSEについて

大木年度は、ニューヨーク州との交換で3月14日から4月13日まで、奇数分区が受け入れとなり、また山崎年度が震災により受け入れが出来なかったため、今年度と同時にスコットランドチームを偶数分区が受け入れることになる。尚、今年度の募集締め切りは8月31日とのことです。

続いて、財団奨学生で今年留学する4名の内2名と2012-2013年度の留学生3名から、留学への抱負と現在の心境についての話があり、また、学友会会長より学友会の内情とこれからの活動について話がありました。

以上で午前の部が終了し昼食後

1時10分より、山本国際奉仕支援アドバイザーから今年度のマッチンググラントの現状についてのお話があり、先ずマッチンググラントとは何かとの説明。また、資料をもとに2010-2011年度の申請状況について、10件の申請があり8件承認されたとの事でした。

続いて、「寄付増進と地区補助金について」のテーマで各分区に分かれての討議がありました。そして、各分区からの報告があり、

①寄付の増進については

- ・先ず、会員に財団に関する理解を深めて頂くことが基本である。
- ・ロータリー財団と米山が同時のため集めづらいので時期をずらして欲しい。
- ・欠席の多い会員からの寄付は難しいので、事前に各会員に寄付の依頼書を出してから徴収する。
- ・クラブの経費を削減して資金に充てる。
- ・公平性を考え、目標を達成するにはある程度強制的に集めても仕方がないのでは。
- ・あくまで寄付であるからお願いをするしかない、等の意見がありました。

②地区補助金については

- ・補助金の額が少ない。
- ・申請数を減らして金額を多くして欲しい。
- ・地区補助金の使用上の条件が厳しいので自由に使えるようにして欲しい、また報告書も簡素化して欲しい。

因みに7分区の申請計画クラブ・・・龍ヶ崎中央RC、藤代RC

以上で全てプログラムが終了し、15時30分ガバナーの点鐘で終了しました。大変長い1日でした。

9月は新世代の為の月間です
THE WEEKLY REPORT

出席報告 (登坂 寛委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
56名	41名	15名	0名	13名	96.43%

ニコニコボックス 鈴木勝久委員長

入金計 ¥47,000 累計 ¥588,000

誕生祝御礼《配偶者》白井会員

13日、大祭終了致しました。 大塚会員

アクトの日にご参加された会員の皆様、ジヨンさん、ありがとうございました。 石塚(克)会員

9月12日、親睦委員会、小委員会に参加して頂きありがとうございました。 小島会員

先週入れようと思いましたが、忘れちゃったので、今週は、納涼会があります。宜しくお願いします。

熊谷会員

例会終了後、2回目のハングル講座があります。予習・復習は欠かせません。 青木(清)会員

17日楽しみにしています。 石塚(幸)会員

先月の第1回韓国語講座欠席してしまいました。本日が初参加となります。もうすでについていけないかも……? 武藤会員

まだ、暑いです。 染谷(正)会員

例会出席出来ました。 山野井会員

早退致します。 雨谷会員

その他 横山会員

長い間、欠席し申し訳ありません。 中川会員

例会欠席しました。 二本松・亀崎 各会員

風邪をひきました。体調管理に注意しましょう。 五木田(裕)会員

例会欠席続きました。 鈴木(勝)会員

会報委員会

青木清人委員長

松崎隆司副委員長

石塚幸一郎委員

系内涼会

平成23年9月17日(土)



バス利用者だけの撮影になりました。

9月は新世代の為の月間です
THE WEEKLY REPORT

